



第77回水道 GLP 認定委員会（5月28日）

水道 GLP 認定について、（一社）埼玉県環境検査研究協会（申請番号：JWWA-GLP 097）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として沖縄県企業局（認定番号：JWWA-GLP049、5月26日付）が、更新後の認定維持検査機関としてさいたま市水道局（認定番号：JWWA-GLP025）、（株）イズミテック（認定番号：JWWA-GLP026）が、それぞれ審議され決定された。

第918回会誌編集委員会（5月29日）

本誌7月号、8月号、9月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

全国水道企業団協議会第57回総会（5月28日～29日）

全国水道企業団協議会第57回総会（開催地事務局：関西地区協議会／阪神水道企業団）が、神戸市の「ANA クラウンプラザホテル 神戸」において開催された。



第1日目：開会式では、開催地代表として阪神水道企業団の山中企業長、全国水道企業団協議会会長の小林八戸市長（八戸圏域水道企業団企業長）、阪神水道企業団議会議長の矢田神戸市長から挨拶があった後、厚生労働大臣、総務大臣、兵庫県副知事、日本水道協会理事長、日本水道工業団体連合会専務理事より祝辞があった。

続いて表彰式では、全国水道企業団協議会会長表彰として、22名が表彰された。

会議では「会務報告」の承認を得たのち、「役員交代」について、福岡県南広域水道企業団が新役員（幹事）として選出された。

続いて「平成24年度歳入歳出決算」、「平成25年度歳入歳出予算（案）」の各議案が上程され、原案のとおり決定した。

休憩後、会員提出問題討議に入り、「東日本大震災で被災した水道施設の解体・撤去費用に係る財政支援等について」等、10問題が一括上程され、討議の結果、全ての問題を関係当局に陳情することと決定した。

その後、厚生労働省健康局の宇仁菅水道課長、総務省自治財政局の廣澤公営企業経営室長よりそれぞれ発言があった。

また、淡路広域水道企業団から、平成25年4月13日に発生した淡路島を震源としたマグニ

チュード6.3の地震について報告があった。

最後に、次期総会について、中国四国地区協議会の岡山県南部水道企業団並びに備南水道企業団を事務局として開催することと決定した。

第2日目：阪神水道企業団尼崎浄水場、(株)クボタ阪神工場を視察した。

第674回抄録委員会（6月5日）

本誌8月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

第1回理事会（6月6日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「平成25年度支部等会計予算」について事務局から説明があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「平成24年度日本水道協会会計決算」、第2号議案「会員の入会」、第3号議案「各種委員会等の設置」、第4号議案「東日本大震災における会員相互応援に対する感謝状の贈呈」が上程され、審議の結果、それぞれ原案のとおり決定した。



第1回運営会議（6月6日）

尾崎理事長が議長となり、第1号議案「平成26年度水道関係予算等の要望」が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

続いて報告事項1「地震等緊急時対応の手引き改訂版の周知」、報告事項2「東日本大震災被災地への復興支援」、報告事項3「第55回水道週間」、報告事項4「指定給水装置工事事業者研修テキスト2013の発刊」、報告事項5「水道施設管理業務第三者委託積算要領案－浄水場等運転・保全管理業務編の発刊」、報告事項6「はじめての水道設備の発刊」について、それぞれ事務局から説明があった。



会議終了後、第1号議案の議決に基づき、自由民主党、厚生労働省、総務省に対し陳情を行った。

第160回水質試験方法等調査専門委員会（6月10日）

厚生労働省健康局水道課 尾川水道水質管理官から、水道水源における水質事故の対応の強化、農薬類の分類の見直し、新水道ビジョン、検査方法告示の改正、最近の水道行政の動向等について説明があった。その後、検査方法告示の改正案について、各部会で検討を行った。

第160回水道統計編纂専門委員会（6月13日）

始めに、議題（1）水道統計の経年分析（平成23年度）について事務局より作業分担等について説明があり、事務局案のとおり了承された。

次に、議題（2）平成24年度水道統計調査について上程し、事務局より説明があり、審議の後、一部修正のうえ了承された。

